



安行小だより

安行小学校 3月号

令和6年3月1日

目指す学校像

よさを認め、学び合い高め合い、やる気と笑顔あふれる学校（個の伸長 公の育成）

～伝統と地域と共に励みて進む安行小150年～

一年間やり続けること

校長 春川 嘉孝

- 「學」の意味をかみしめて ○力をあわす楽しさよ
- 目を見てあいさつ 笑顔あふれる安行小～150周年のパワーでがんばろう！～
- 目に見えぬ思いを感じ、感謝する心を ○大切にしていきたいこと
- お化粧なおし ○心も広く 朗らかに ○最終的に残るものは教育よ
- Grab For Green! ○二月 如月 令月 木芽月

上記に示した言葉は、今年度、150周年の学校だよりの「タイトル」になります。「原学校」からスタートした「安行小学校」は、地域の方の熱い思い、教育の大切さを伝え、広くこの地域の子供たちを導いてきました。安行の土地を豊かに安全に開拓された方、植木の里として安行を国内外に広めた方、地域の伝統をかたくなに守り継承する方、そして、安行小を大切に思い長年にわたり協力、支援いただいている方。その中で、私たち安行小に通うお子さんも教職員も守られていると感じる一年間でした。

いよいよ三月、学校の一年間の最終月を迎えました。一日一日が過ぎるのは長く感じても、一年間となると、その流れは速く感じます。新しい一年間の準備を始める時期でもあります。そういう時期だからか、ふと、この一年間の自分を振り返る瞬間があります。この一年間、私自身が続けてきたこと。「登校前の歩道のゴミ拾い」正門前の歩道は安行小の児童も安行中の生徒も通る道。残念ながら歩道にはいろいろな物が落ちています。毎朝、落ちていた物を拾い続けていると気づくことがあります。それは「なぜ、このような物が落ちていたのか」ということ以上に「落ちていた物を見つける力がついていること」です。初めのうちは、気づかないことでも、意識していくと様々な物(事)に気づけるようになります。やり続けることで、新しい何かを発見することができます。また、地域の方の温かい声にも、何かを始めるきっかけは、ふとした瞬間に思いつくこともあります。それでも、続けていくことで、多くのことに触れることができます。それは「学び」でも同様のことです。学ぶことで、どんどん力がついていきます。それは、自信につながり、さらに、あたらしい気づきや発見と共に「学び」は広がっていきます。

先日保護者、地域の皆様にご協力いただいた「学校アンケート」の項目で、安行小の子供たちに身に付けてほしい力として「粘り強さ」があります。粘り強く取り組むことは、①喜びがあり②達成感と充実感を味わうことができ③他者との豊かな関わりがあり④チャレンジする意欲がもて⑤課題を克服する力がつく等々のよさがあります。これからも、お子さんの「やる気」「よさ」に共感しながら「まじめに、あかるく、がんばる子供たち」の育成に努めてまいります。家庭でも、お子さんの「やる気」を認め、称え、応援していただけますようお願いいたします。



卒業する皆さんの活躍を今から期待しています。そして、進級するお子さんと新しく入学してくるお子さんにとっても、4月からの新しい生活の中で「チャレンジする気持ちをもって、自分も友達も共に成長していこう」を目指し、151年目の安行小を皆様と共に創ってまいりましょう。この便りを手にするすべての方が「安行小学校の一員です。」

一年間のご理解、ご支援、ご協力、誠にありがとうございました。